

田中裕規 議員レポート

2019年 1月号 No.6

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年は未曾有の豪雨災害に見舞われ、皆様方にはご苦勞とご心配をおかけしました。また、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。今回は、7月の西日本豪雨災害により、9月の定例議会が10月に延期されたため、10月と12月の定例議会合併号としてみなさまにご報告致します。

1. 西日本豪雨災害復興費用は市の対応可能 (10月定例議会で確認)

この度の豪雨災害により、復興に掛かる費用は3年間で約186億円と推定されています。市の財政圧迫が心配されていますが、国が激甚災害に指定したことで、復興費の約90%は国・県から補助される予定です。(今後国の査定が入り、'19年6月頃に実質費用が決定する予定)市負担の復興費は、これまで蓄えていた約60億円の財政調整基金を切り崩して対応が可能であり、市の財政上の大きな問題はありませんのでご安心ください。



(久井町吉田の災害現場)



三原市議会議員
田中ひろき

2. 12月定例議会一般質問で問う

12月の定例議会の一般質問では、新庁舎完成後のペアシティ三原西館の活用計画について、民間ノウハウを活用した公共施設の指定管理者制度の今後についての2件の一般質問を行いました。

以下に、一般質問の概要を示します。

(1) ペアシティ三原西館の活用計画について

- 【質問】①城町庁舎移転後のペアシティ三原西館の活用コンセプト*と具体的な計画はどうか。
②1階にあるみはら歴史館の後は。
③西館の1階と2階の有効活用について権利者と積極的に協議すべきではないか。

- 【答弁】①子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が活躍する場所とし、児童館や老人大学などを集約させ、生涯学習、健康づくり、子育て支援などの機能を持たせることで、多世代に渡る集客を通じて、中心市街地の活性化に繋げていく。
②民間活用が明確になるまで継続する。
③課題も多く慎重に検討していきたい。

※ 東館跡地と西館はセットでコンセプト*を明確にして開発していくべきで、今回行政に考えを問いました。駅前の一等地の建物をどう活用していくかは、中心市街地活性化に大きく影響します。西館は過去からの経緯があり多くの課題を持ちますが、どう活用していくかを権利者が一緒になって考えていただくことを要望しました。

*：コンセプト＝基本的な考え

◇ プロフィール

1959年8月9日生
東京農工大学工学部
大学院卒
元帝人(株)社員
家族構成
妻と息子3人

◇ 連絡先

三原市港町三丁目
16番13号
携帯 090-7137-0440
FAX 0848-64-8911

(2) 指定管理者制度の今後について

- 【質問】 ①公共施設で地域振興を目的として物販と飲食サービスを提供している施設はどこか。
②収入が経費を上回る施設は、管理委託料がゼロで、施設納付金の提案を求めた上で納付が出来る
と本制度導入方針には記載があるが、納付基準が不明瞭では。
③地場産品等を販売し、既に軌道に乗っている施設は、長期的な取り組みができるよう、新たな方式
の導入を考えてはどうか。

- 【答弁】 ①道の駅の「神明の里」と「よがんす白竜」の2つの施設で、健全な経営がされている。
②全ての施設が対象のため明確な基準にしていない。次回、指定管理者を定める際は、納付金の設
定基準について検討する。
③将来像などを考慮した上で、効果やリスクなどを検討し、最適な方式について検討したい。

※ 本市が指定管理者制度を導入した際は、経営の黒字化は想定されていなかったため、H30年5月に施設納付金の基準が追加されました。しかし、納付金の金額設定基準が不明瞭で、相手の提案で決めるようになっていたため、明確な基準にするよう要望しました。また、現状の指定管理者制度は、委託期間が短く戦略的な長期経営ができないデメリットがあります。軌道に乗っている施設は、より地域活性化に結び付く経営展開ができるよう新たな方式の検討も要望しました。

3. トピックス

◆ 不燃物処理工場更新決定

現在の工場が抱える老朽化や施設点在による作業動線の悪さ、施設の機能不足による作業の非効率性、劣悪な作業環境等を改善するため、過疎債、合併特例債及び大規模事業基金を利用して、世羅町と共同出資で不燃物処理工場の更新が決定しました。総事業費は2,970百万円（三原市負担金1,720百万円）で、三原市清掃工場の横に建設されます。完成は2020年12月予定。

◆ 本郷への安定型産業廃棄物処理場建設に関する議会要望について

本郷町南方観音平への安定型産業廃棄物最終処分場の建設について、危険性の排除を求める請願と、水道水源の保全に関する請願が、南方連合町内会より議会へ提出され、全員一致で採択されました。

これは、本郷町南方観音平の山中へ広大な安定型産業廃棄物最終処分場を民間が建設しようとするもので、沼田川への汚染物質の流入の可能性や、業者との信頼関係の構築が難しい状況になっていることから提出されたものです。

4. 活動報告&お知らせ

(1) 7月豪雨災害での断水対応活動

7月豪雨災害で、旧三原市内は断水が発生し生活に大きな影響がでましたが、ボランティアによる給水活動や、佐木島では民間や三次市、水産庁や自衛隊などからの給水支援があり、約10日間の断水をしのぎました。ありがとうございました。



(佐木島での航空自衛隊の給水活動)

(2) 第30回トライアスロンさぎしま大会に向けて

第29回目となる「トライアスロンさぎしま」が8月26日、約400人の選手が参加して開催されました。今回は湯崎広島県知事もバイク選手として参加され大いに盛り上がりました。来年は、30回目の節目の年になります。三原港近辺での前夜祭を計画中です。テレビドラマにもなった伝統あるトライアスロンさぎしまを盛り上げていこうと思いますので、市民のみなさんの参加をお願い致します。



(湯崎県知事も選手として参加)

(3) 駅前東館跡地図書館活用ワークショップ(研究集会)に参加

駅前東館跡地に建設される①図書館と②広場と2つの通りの活用について、8月から10月にかけて市民ワークショップが開催され参加しました。高校生も参加し活発な意見・要望が出され、使いやすい図書館と面白い広場・通りになりそうです。



(ワークショップ風景)

5. あとがき

昨年の豪雨災害は、災害が少ないと言われていた備後地区も例外ではないことを示しました。災害時は自助、共助、公助が大事であると言われてますが、今回の災害では町内会活動や自主防災組織がいかに大事であるかを感じました。近所付き合いが疎遠化する中、みなさんが協力し合って行った給水活動は、水の周りに集う昔の井戸端会議をほうふつさせ、今回の災害を機に少し近所や町内会の絆が深まったのが、唯一良かった事だったのかもしれない。

<市民のみなさまからのご意見・ご要望をお待ちしています!!>

- 駅前の賑わい創生のためのアイデアについて
 - いま困っていること
 - 三原の将来について、してほしいこと
 - 行政や関係団体などの課題について
- 等

【連絡先】 E-mail : h-tanaka1@gm.tp1.jp
携帯電話 090-7137-0440